

1 野良猫がいつまでも減らないエサのやり方

①大皿に山盛りにキャットフードを入れ、常時（24時間）屋外に置きっ放しにする。

②魚のアラやご飯を皿に入れ、屋外に置いておく。

③畑に残飯をまく。

④道路にキャットフードをまく。



図1 複数頭分の猫のエサを大皿に入れたもの

デメリット

何頭の猫にエサをあげているのかが分からない。

どんな毛色の猫が来ているのかが分からない。猫の個体識別ができない。

給餌している猫が不妊去勢済かどうか分からない（未手術の猫から子猫が産まれる可能性）。

野良猫がその地域に何頭いるのかが分からない。

他の動物（イタチ、タヌキ、ネズミ、カラス、トンビ等）や昆虫（ゴキブリ、ハエ等）が寄ってくる。

2 野良猫を減らしていくためのエサのやり方

①不妊去勢済の耳カットがしてある猫にのみに給餌する。

②毎日決まった時間、場所で頭数分の皿を用意して、猫が来ても来なくても、また食べ残しがあっても30分以内にすべて片付ける。後から猫が来てエサを欲しがっても、決めた時間まであげない。

例) 毎日朝7時と夕方5時の1日2回、〇〇の場所で10頭分のお皿を用意し給餌する。



図2 10頭の猫には10皿分用意し、1回で食べ切れる量を給餌

ポイント

お皿の数で給餌している頭数がわかる。

給餌中に来ている猫の個体ごとの把握ができる。

給餌中に来ている猫の耳カットの有無を確認することで、不妊去勢済かどうか分かる。

流入してきた新入りの猫がすぐ分かる。

3 新たな猫が現れたら

以下の①もしくは②を選ぶ。

①給餌しながら捕獲して不妊去勢を行い管理対象とする。

②エサをやらず、追い払いをし、管理対象としない。